

平成15年（2003年）7月

レケナウルティア
（はつこいそう） 属
（*Lechenaultia* R. Br.）

1. 対象植物の範囲

(1) 本基準の対象植物は、クサトベラ科 (Goodeniaceae)、*Lechenaultia* R. Br. 属 *L. formosa* 種、*L. biloba* 種及び *L. striata* 種の3種の「はつこいそう」とする。

文献等によると *Lechenaultia* 属はこの他に *L. acutiloba*、*L. biloba*、*L. expansa*、*L. floribunda*、*L. hirsuta*、*L. laricina*、*L. linarioides*、*L. longiloba*、*L. superba*、*L. tubiflora* 等14種があるが、園芸品種として栽培及び販売されている *L. formosa*、*L. biloba* 及び *L. striata* の3種とした。

属名はフランス・トゥールの植物学者ルシュノー(1773-1826)からきており *Leschenaultia* としていたが、原産地であるオーストラリアのナショナルボタニックガーデンのデータベースにおいて *Lechenaultia*、日本国内の植物学分野でも *Lechenaultia* という表記が用いられており、これに準拠することとした。

2. 特性審査基準

(1)はつこいそう特性審査基準

重要 形質	No.	形 質	定 義	調査方法	状態または区分	階級	標 準 品 種
樹 姿 及 び 樹 高	1	樹姿	2年生株の開花始期における株全体の樹姿	観察 (図-1)	直立型	1	イエローワンダー
					中間型	2	ニューモーニング
					開張型	3	ブルームーン
樹 高	2	樹高	2年生株の開花始期における地際から株先端までの高さ	測定	低	3	ニューモーニング
					中	5	
					中高	7	スカイブルー
樹 の 広 が り	3	樹の広がり	2年生株の開花始期における最大株幅	測定	狭	3	striata
					中	5	スタープラスタ
					広	7	スカイブルー
枝 の 形 状	4	枝の長さ	開花始期における当年枝の基部から主枝頂花の着生部までの長さ	測定	短	3	イエローワンダー
					中	5	
					長	7	
	5	枝の太さ	開花始期における当年枝の基部から主枝頂花の着生部までの中間部の太さ	測定	細	3	プリンセスオレンジ
					中	5	スタープラスタ
					太	7	ブルーパピオン
	6	枝の色	開花始期における当年枝の中間部の色	観察	淡 緑	1	イエローワンダー
緑					2		
濃 緑					3		
赤					4	スタープラスタ	
赤 褐					5		
褐					6		
7	分枝性	開花始期における当年枝の主枝頂花の開花後に発生する分枝数	観察	少	3		
				中	5		
				多	7		
葉 の 形 状	8	葉長	2年生株の開花盛期における当年枝の最大葉の長さ	測定	短	3	プリンセスオレンジ
					中	5	スタープラスタ
					長	7	イエローワンダー
	9	葉幅	2年生株の開花盛期における当年枝の最大葉の幅	測定	狭	3	イエローワンダー
中					5		
10	葉色	2年生株の開花盛期における当年枝の最大葉のブルームを除いた葉の色	観察	淡 緑	3		
				濃 緑	7		
11	葉のブルームの程度	2年生株の開花盛期における当年枝の葉のブルームの程度	観察	弱	3	プリンセスオレンジ	
				中	5	イエローワンダー	
				強	7	スタープラスタ	
花 の 形 状	12	つぼみの長さ	開花直前のつぼみの長さ	測定 (図-2)	短	3	ニューモーニング
					中	5	プリンセスオレンジ
					長	7	イエローワンダー
	13	つぼみの幅	開花直前のつぼみの最大部の幅	測定 (図-2)	狭	3	ニューモーニング
					中	5	
					広	7	イエローワンダー
	14	花冠筒部の長さ	開花盛期の花冠筒部の花の根元から先端までの長さ	測定 (図-3)	短	3	イエローワンダー
					中	5	スタープラスタ
					長	7	
	15	花冠筒部の幅	開花盛期の花冠筒部の最大の外径	測定 (図-3)	狭	3	ニューモーニング
					中	5	プリンセスオレンジ
					広	7	
16	花冠の目の有無	花冠の目の有無	観察	無	1		
				有	9		
17	花冠の目の色	花冠の目の色	測定	JHSカラーチャートの色 票番号による			
				小	3		
				中	5		
18	花冠の目の大きさ	花冠の目の大きさ	測定	大	7		
				無	1		
				弱	3		
19	花冠裂片の反転程度	開花盛期の花冠裂片の反転程度	観察 (図-4)	中	5	プリンセスオレンジ	
				強	7	スタープラスタ	
				浅	3		
20	花冠裂片の縁の切れ込みの程度 (切れ込みの深さ/花冠裂片の長さ)	測定 (図-5)	観察	中	5		
				深	7		
				浅	3		
21	花冠裂片の重なり程度	開花盛期の花冠裂片の重なり程度	観察 (図-6)	中	5		
				深	7		
				短	3	スタープラスタ	
22	花の縦径	開花盛期の花を自然状態のまま最長径を測定	測定 (図-7)	短	3	スタープラスタ	
				中	5		
				長	7		
23	花の横径	開花盛期の花で自然状態のまま最大幅を測定	測定 (図-7)	狭	3	イエローワンダー	
				中	5	ニューモーニング	
				広	7		

はつこいそう-1

重要 形質	No.	形 質	定 義	調査方法	状態または区分	階級	標 準 品 種	
花 の 形 状	24	花の向き	開花盛期における花の向き	観察 (図-8)	上 向 き 斜 上 横 向 き	3 5 7	プリンセスオレンジ スタープラスタ	
	25	花弁の形	開花時の大型裂片の形 (大型裂片が3枚のものは中央部裂片、2枚のものは大きい裂片)	観察 (図-9)	I 型 II 型 III 型 IV 型 V 型 その他	1 2 3 4 5 9	プリンセスオレンジ ニューモーニング スタープラスタ イエローワンダー	
	26	花弁の表面の地色	開花時の大型裂片の地色	測定	JHSカラーチャートの色 票番号による			
	27	花弁の表面の中肋の色	開花時の大型裂片の表面の中肋の色	測定	JHSカラーチャートの色 票番号による			
	28	花弁の表面の複色	開花時の大型裂片の複色の色 (絞りを除く)	測定	JHSカラーチャートの色 票番号による			
	29	花弁の絞り模様の有無	開花時の大型裂片の絞り模様の有無	観察	無 有	1 9	イエローワンダー	
	30	花弁の絞り模様の色	開花時の大型裂片の絞り模様の色	測定	JHSカラーチャートの色 票番号による			
	31	花弁の縁の毛の有無	開花時の大型裂片の縁の毛の有無	観察	無 有	1 9	イエローワンダー	
	32	花弁の大きさ(長さcm×幅cm)	開花時の大型裂片の大きさ	観察 (図-5)	小 中 大	3 5 7		
	33	花弁の裏面の地色	開花時の大型裂片の裏面の地色	測定	JHSカラーチャートの色 票番号による			
	34	花弁の裏面の中肋の色	開花時の大型裂片の裏面の中肋の色	測定	JHSカラーチャートの色 票番号による			
	35	花弁(小型裂片)の形	開花盛期における小型裂片の形	観察 (図-10)	I 型 II 型 III 型 IV 型 V 型 VI 型 VII 型 その他	1 2 3 4 5 6 7 9	ニューモーニング イエローワンダー	
	36	花弁(小型裂片)の大きさ (長さmm×幅mm)	小型裂片の大きさ	測定 (図-11)	小 中 大	3 5 7	イエローワンダー	
	37	花弁(小型裂片)の表面の地色	開花盛期における小型裂片の主色の色	測定	JHSカラーチャートの色 票番号による			
	38	花弁(小型裂片)の表面の複色	開花盛期における小型裂片の複色の色 (絞りを除く)	測定	JHSカラーチャートの色 票番号による			
	39	柱頭の色	開花盛期における柱頭の色	測定	JHSカラーチャートの色 票番号による			
	40	柱頭の毛の多少	開花盛期における柱頭の毛の多少	観察	少 中 多	3 5 7	スタープラスタ ニューモーニング	
	41	がくの形	開花盛期におけるがくの形	観察 (図-12)	線 形 披 針 形 橢 円 形 卵 形 そ の 他	1 2 3 4 9	イエローワンダー	
	42	がくの大きさ	開花盛期におけるがくの大きさ	観察	小 中 大	3 5 7	イエローワンダー	
	43	がくの色	開花盛期におけるがくの色	測定	JHSカラーチャートの色 票番号による			
	44	がくのアントシアニンの有無	開花盛期におけるがくのアントシアニン 着色の有無	観察	無 有	1 9	プリンセスオレンジ イエローワンダー	
	45	子房の長さ	開花時における子房の長さ	測定 (図3)	短 中 長	3 5 7	スタープラスタ ニューモーニング プリンセスオレンジ	
	46	子房の幅	開花時における子房の幅	測定 (図3)	狭 中 広	3 5 7	スタープラスタ	
	47	子房のアントシアニン着色の程度	開花時における子房のアントシアニン 着色の程度	観察	淡 中 濃	3 5 7	イエローワンダー	
	48	花の香り	開花期における花の香りの有無	官能	無 有	1 9	イエローワンダー	
	早 晩 性	49	開花期	供試株の過半数が開花する時期	観察	早 中 晩	3 5 7	
	四 季 咲 性	50	四季咲き性	四季咲き性の有無	観察	無 有	1 9	

はつこいそう-2

(2) 特性審査基準 参考図

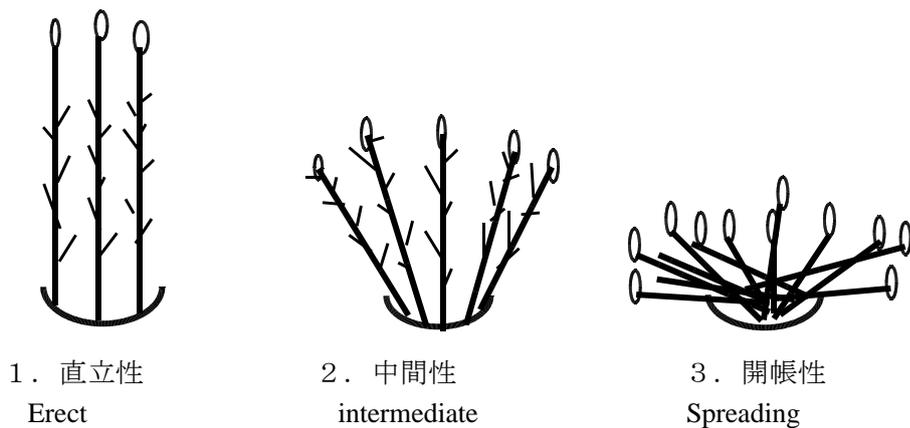


図1 1. 樹姿
fig.1 Plant : growth habit

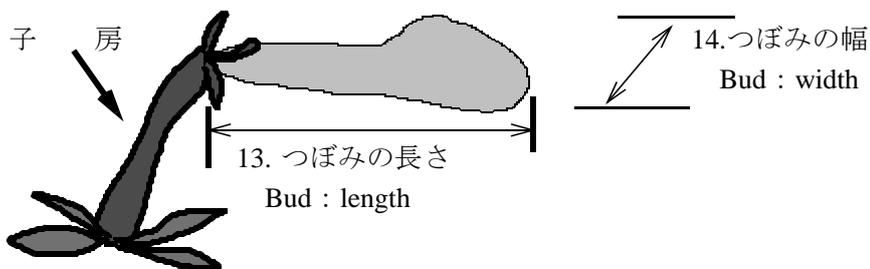


図2 13. つぼみの長さ Bud : length
14. つぼみの幅 Bud : width
fig.2 Bud : length , width

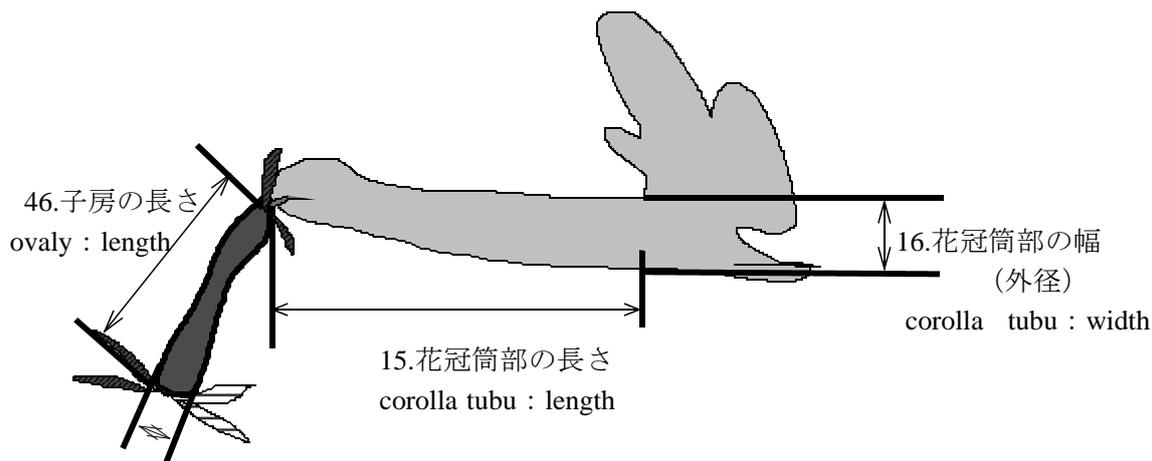


図3 15.花冠筒部の長さ corolla tube : length
16.花冠筒部の幅 corolla tube : width
46.子房の長さ ovaly : length
47.子房の幅 ovaly : width

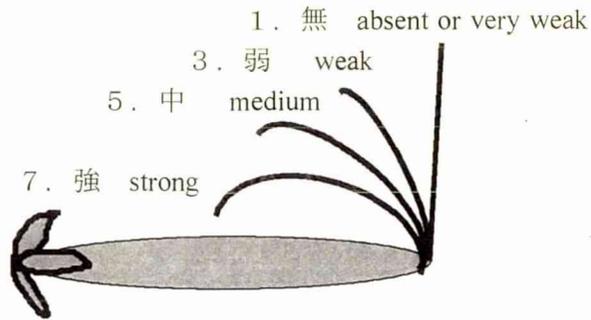


図4 20. 花冠裂片の反転程度
fig.4 petal : turning over degree

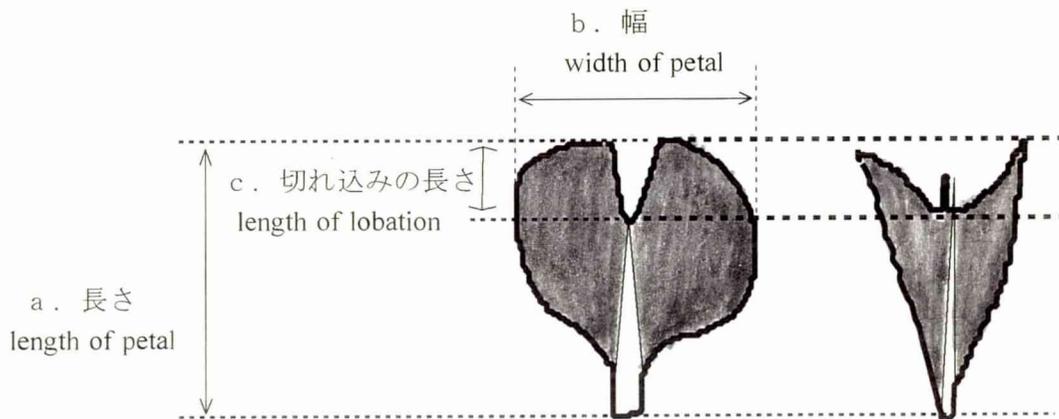


図5 21. 花冠裂片の縁の切れ込みの程度 (c/a)
(測定は大型裂片の中央)
fig.5 petal : lobation of margin

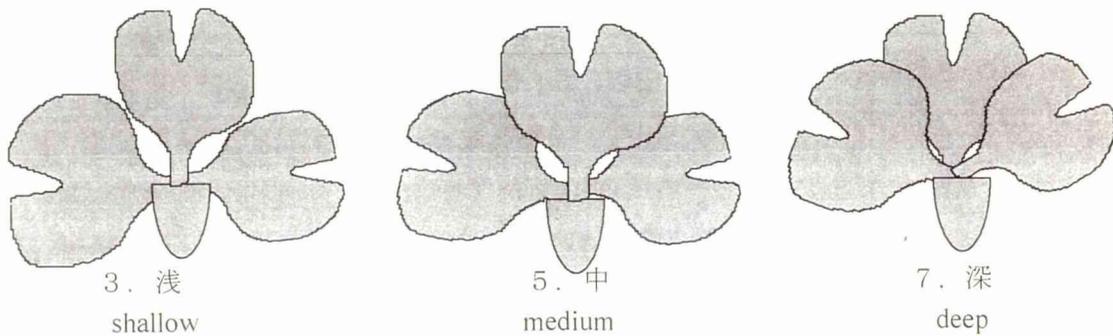


図6 22. 花冠裂片 (大型裂片) の重なり
fig.6 petal : overlap

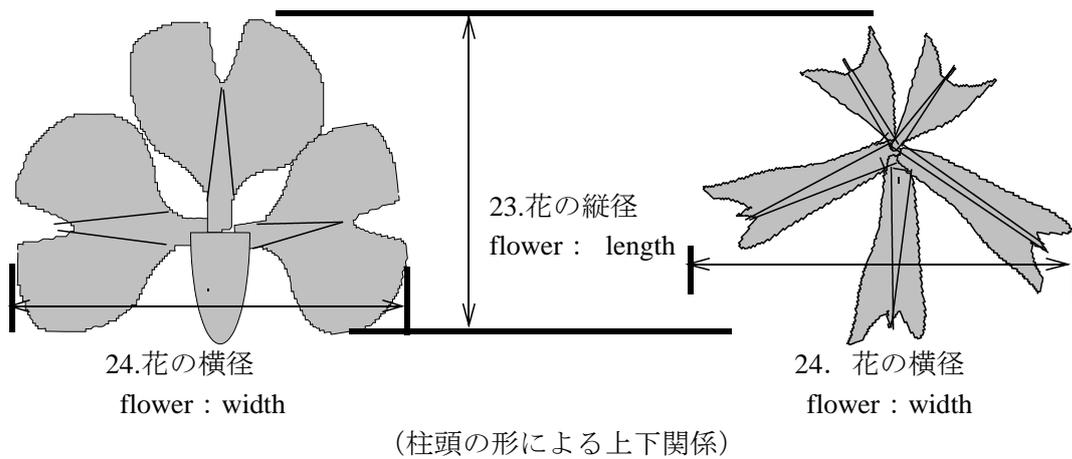


図7 23.花の縦径 (自然状態のまま) flower : length
 24.花の横径 (") flower : width
 fig.7 flower : length or width

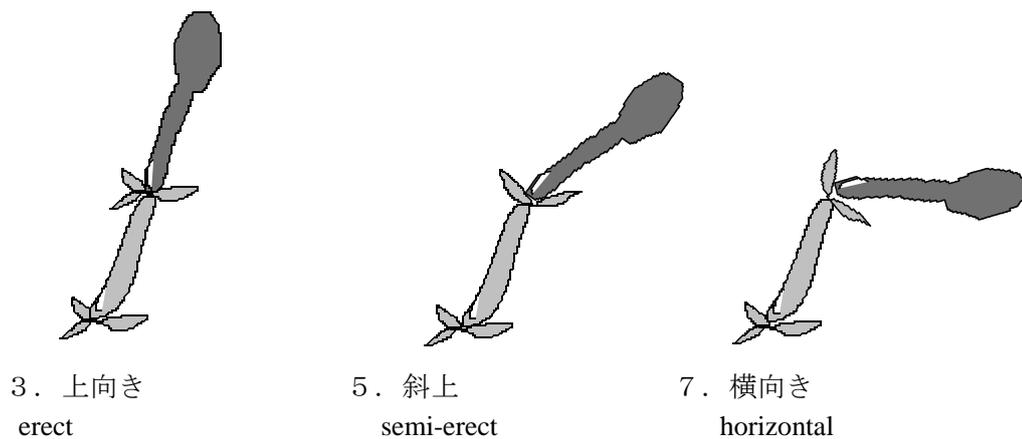
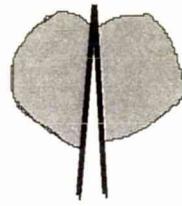


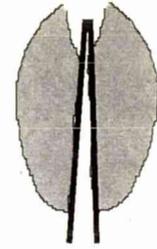
図8 25. 花の向き
 fig.8 flower : direction



1. I型
type I



2. II型
type II



3. III型
type III



4. IV型
type IV



5. V型
type V

図9
fig.9

26. 花卉（大型裂片）の形
petal (big-size petal) : shape



1. I型
type I



2. II型
type II



3. III型
type III



4. IV型
type IV



5. V型
type V



6. VI型
type VI



7. VII型
type VII

図10

36. 異形花卉（小型裂片）の形

(注. 1~5は、2枚の花弁が1枚に見える)

fig.10 . Variant petal (small-size petal) : shape

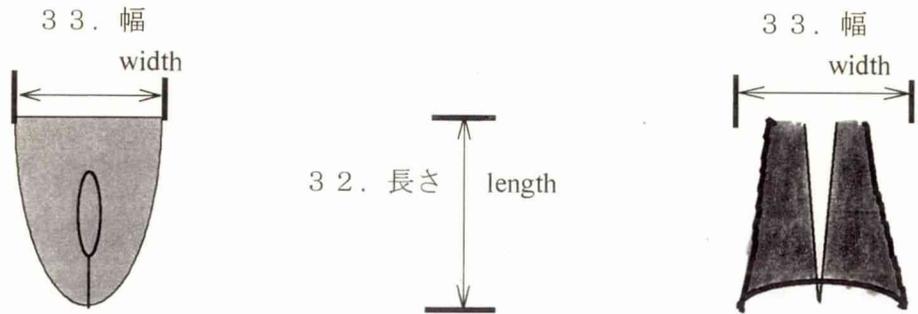


図 1 1 3 7. 異形花卉の大きさ (大型裂片と形の異なる花卉)
 fig.11 Variant petal (small-sized petal) : size

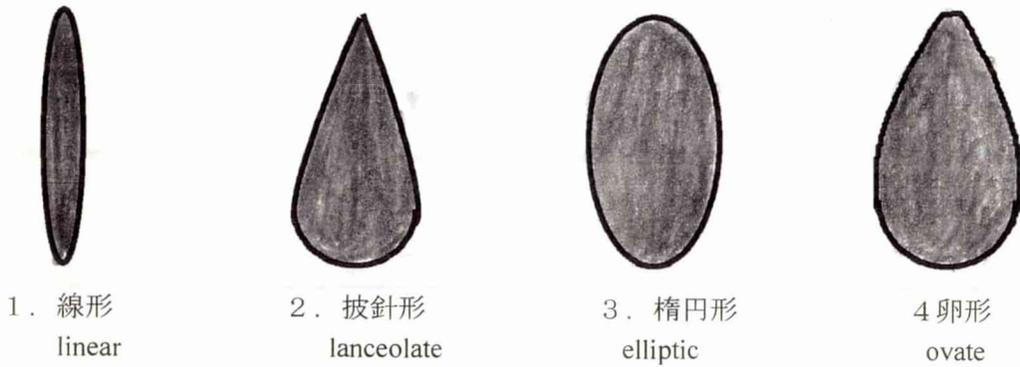


図 1 2 4 2. がくの形
 fig.12 sepal : type

(3) Table of Characteristics (*L.formosa*, *L.biloba*, *L.striata*)

No.	Characteristics	States	Note	Exsample varieties
1	Plant : growth habit	erect	1	Yellow Wandar
		intermediate	2	New Morning
		spreading	3	Blew Moon
2	Plant : height	low	3	New Morning
		medium	5	
		hight	7	Skay Blew
3	Plant : extent	small	3	striata
		medium	5	Star Bluster
		wide	7	Skay Blew
4	Stem : length	short	3	Yellow Wandar
		medium	5	
		long	7	
5	Stem : thickness	thin	3	Princess Orange
		medium	5	Star Bluster
		thick	7	Blew Papion
6	Stem : color	light green	1	Yellow Wandar
		green	2	
		dark green	3	
		red	4	
		reddish-brown	5	
		brown	6	Star Bluster
		other	9	
7	Branch : number	few	3	
		medium	5	
		many	7	
8	Leaf : length	short	3	Princess Orange
		medium	5	Star Bluster
		long	7	Yellow Wandar
9	Leaf : width	narrow	3	Yellow Wandar
		medium	5	
		wide	7	
10	Leaf : color of upper side	light green	3	
		medium	5	
		dark green	7	
11	Leaf : degree of bloom	weak	3	Princess Orange
		medium	5	Yellow Wandar
		strong	7	Star Bluster
12	Bud : length	short	3	New Morning
		medium	5	Princess Orange
		long	7	Yellow Wandar
13	Bud : width	narrow	3	New Morning
		medium	5	
		thick	7	Yellow Wandar
14	Coralla tube : length	short	3	Yellow Wandar
		medium	5	Star Bluster
		long	7	
15	Coralla tube : width	narrow	3	New Morning Princess Orange
		medium	5	
		thick	7	
16	Flower : eye	absent	1	
		present	9	
17	Flower : color of eye	JHS Colorchart indicate reference Number		
18	Flower : size of eye	small	3	
		medium	5	
		large	7	

No.	Characteristics	States	Note	Exsample varieties
19	Petal : turning over degree	absent or very weak	1	Princess Orange Star Bluster
		absent	3	
		medium	5	
		strong	7	
20	Petal : lobation of margin	shallow	3	
		medium	5	
		deep	7	
21	Petal : overlap	shallow	3	
		medium	5	
		deep	7	
22	Flower : length	short	3	Star Bluster
		medium	5	
		long	7	
23	Flower : width	small	3	Yellow Wandar New Morning
		medium	5	
		larg	7	
24	Flower : direction	erect	3	Princess Orange Star Bluster
		semi-erct	5	
		horizontal	7	
25	Petal : shape of big-size petal	type I	1	Princess Orange New Morning Star Bluster Yellow Wandar
		type II	2	
		type III	3	
		type IV	4	
		type V	5	
		other	9	
26	Petal : main color	JHS Colorchart indicate reference Number		
27	Petal : vein color	JHS Colorchart indicate reference Number		
28	Petal : second color of upper side	JHS Colorchart indicate reference Number		
29	Petal : speckle	absent	1	Yellow Wandar
		present	9	
30	Petal : color of speckle	JHS Colorchart indicate reference Number		
31	Petal : pubescence of petal margin	absent	1	Yellow Wandar
		present	9	
32	Petal : size	small	3	
		medium	5	
		large	7	
33	Petal : color of lower side	JHS Colorchart indicate reference Number		
34	Petal : vein color of lower side	JHS Colorchart indicate reference Number		
35	Petal : shape of small-size petal	type I	1	New Morning Yellow Wandar
		type II	2	
		type III	3	
		type IV	4	
		type V	5	
		type VI	6	
		type VII	7	
		other	9	
36	Petal : size of small-size petal	small	3	Yellow Wandar
		medium	5	
		big	7	
37	Petal : color of upper side of a small-size petal	JHS Colorchart indicate reference Number		
38	Petal : color of color rimming of a small-size petal	JHS Colorchart indicate reference Number		

No.	Characteristics	States	Note	Example varieties
39	Stigma : color	JHS Colorchart indicate reference Number		
40	Stigma : pubescence	sparse	3	Star Bluster New Morning
		medium	5	
		dense	7	
41	Sepal : type	linear	1	Yellow Wandar
		lanceolate	2	
		elliptical	3	
		ovoid	4	
		other	9	
42	Sepal : size	small	3	Yellow Wandar
		medium	5	
		larg	7	
43	Sepal : color	JHS Colorchart indicate reference Number		
44	Sepal : anthocyanin coloration	absent	1	Princess Orange Yellow Wandar
		present	9	
45	Ovary : lengh	short	3	Star Bluster New Morning Princess Orange
		medium	5	
		long	7	
46	Ovary : width	small	3	Star Bluster
		medium	5	
		large	7	
47	Ovary : anthocyanin coloration	light	3	Yellow Wandar
		medium	5	
		strong	7	
48	Flower : fragrance	absent	1	Yellow Wandar
		present	9	
49	Time of flowering	early	3	
		medium	5	
		late	7	
50	Perpetual flowering	absent	1	
		present	9	

3. 特性検定のための栽培試験方法

(1) 栽培様式 施設無加温・鉢栽培（試験は、挿し芽又は1年間株を養成したものを使用する）

挿し木の時期 9月上旬

挿し木 初夏に伸びた枝の先端から5～7cm位で切りそろえて、輪ゴムでとめる。その後、きれいな水に30分くらい切り口をつけて用土に挿す。

摘 芯 行わない

挿し床 育苗箱

挿し芽用土 パーライトとバーミキュライトを2：1混合したものを使用する。

灌水・管理 挿し木後は十分灌水し、日除け下で管理し時々霧吹きで葉水を与えながら管理する。

移 植 挿し木後に発根し主茎が伸び始め第1次分枝が動きだした時に移植を行う。

鉢の大きさ 素焼鉢6号・1本植

施肥・元肥 鉢に使用する用土1リットルに対し、マグアンプKを5gを混和する。液肥は、2週間に1回程度1000倍液を施す。春先は、固形肥料を施す。

鉢用土 川砂とピートモスを1：1で混合したもの、あるいはサボテン・多肉植物用の市販されている土を使用する。

灌 水 多湿を嫌う植物で、2～3日に1回程度鉢土の表面が乾燥したのを確認し十分与える。

置き場所 日当たりの良い所に置く。

栽培温度 梅雨期や夏季の間は、空気中の湿度を下げたり、換気を行い涼しく管理する。

耐寒性 寒さには強く耐寒性があり、冬場は施設内の温度が－5度を下回らない場所での暖房は必要としないがビニールカーテン使用する。

その他 環境への適応性が弱い植物。

(2) 供試個体数 15株 2反復

(3) 栽培調査上の留意事項

- ①比較的栽培しやすい植物であるが、多湿は嫌うので乾燥気味に管理する。
- ②明るい所を好むのが、夏期の日射量の多い時期は遮光を行った方がよい。
- ③肥効については、途切れることのないよう定期的に施す方がよい。
- ④ピンチは不要。